



袋井市を行幸啓された両陛下  
2018年11月27日 常林寺(右下写真)と近藤記念館をご視察された

## 新年明けましておめでとうございます

後援会の皆様には、新しい年をお健やかに迎えのとお慶び申し上げます。旧年中も大変お世話になりました。本年も変わらぬご指導の程、宜しくお願ひ申し上げます。

さて、昨年11月27日、天皇皇后両陛下の本市への行幸啓は市および市民にとりまして、大変有り難いご視察であったと思います。

今回の訪問は、明治時代末期にベトナムの独立運動の指導者ファン・ボイ・チャウを支援した袋井生まれ(1867年)の浅羽佐喜太郎氏の紀年碑が建つ常林寺(梅山)とファン氏および浅羽氏の交流特別展を開催している近藤記念館などを視察のため訪問されたものです。

この経緯ですが、1909年(明42年)フランス領からの独立運動を進めていたベトナムのファン・ボイ・チャウ氏をはじめとする留学生達は、日仏協約締結により日本から国外退去を迫られ、運動に行き詰まり、金銭的にも追い詰められていました。当時、袋井から神奈川県に移り、医院を開業していた浅羽氏はお金に困っていたファン氏らに当時のお金で1700円もの大金を渡すなどして支援し、結果、日本からの出国をすることが出来たのでした。その後、恩を受けたファン氏は浅羽氏に恩義を返すべく、10年後に再入国しますが既に浅羽氏は亡くなっていました。しかも、十分なお金を持たないファン氏は一旦帰りお金を用意しようとしたが、東浅羽村の村長はじめ村人らは、ファン氏の浅羽氏への義侠の姿勢に感動し進んで支援申し出、常林寺に1918年(大16年)紀年碑を建立することが出来たのです。

こうした両氏の関係を昨年ベトナムを訪問された、両陛下はファン氏の孫との語らいから、この日越の絆に思いを寄せられるなどして今回の行幸啓になったものです。当日は天気にも恵まれ、多くの市民の歓迎のもと、両陛下は常林寺において紀年碑をご視察されるとともに、近藤記念館においても浅羽氏とファン氏の特別展示をご視察されました。

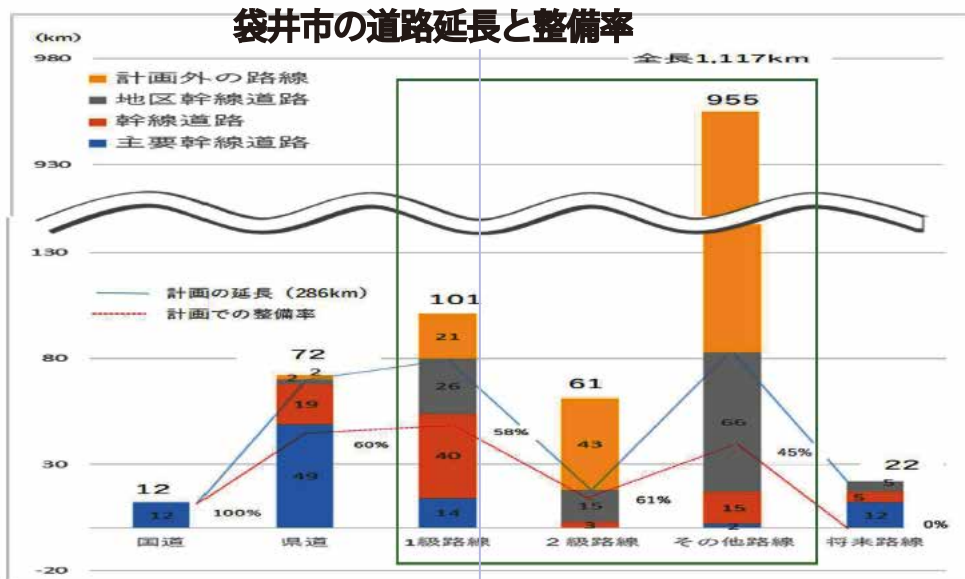
## 昨年の袋井の主な出来事

- ①天皇皇后両陛下が袋井を視察
- ②WHO(世界保健機関)表彰などを受賞
- ③4月より「コミセン」スタート
- ④初めて市人口88,000人突破
- ⑤ラグビーW杯準備進む
- ⑥2020年五輪、アイルランドがキャンプ
- ⑦みつかわ夢の丘公園開園
- ⑧消防庁舎建設 7月に起工式
- ⑨ヒルスポロ姉妹都市提携30周年記念
- ⑩台風24号被害 大規模停電発生
- ⑪さわやかアリーナ袋井 体育館名称決定
- ⑫駅北ホテル 建設に向け話し進む

# 11月定例会 大庭の一般質問



11月定例会での一般質問の内容についてお知らせします。



## 道路行政について

### 袋井市の道路整備状況は

**問** 袋井市の道路整備状況はどのようなになっているか。

**答** 袋井市の市道の延長は上の図の緑枠で囲ってのように全体で1,117km、その内、市内の1級道路は101km、2級道路は61km、その他路線は955km、これ以外に国道（1号線・150号線・東名高速道路）が12km、県道が72km、となっている。

整備率は国道が100%、県道が60%、1級路線が58%、2級が61%、その他が45%、合計で52%、さらに主要幹線道路（上の図のグラフ青色）89kmのうち52%、幹線道路（赤）82kmのうち54%、地区幹線道路114km（灰色）のうち、50%が整備済となっている。

### 道路予算が削減されている

**問** 道路事業費が削減されている。もっと増やせないか。

**答** 2026年度までの10カ年で短期整備路線19路線に51億円を予定している。1年あたり5億円であり、これに生活道路整備費の1億円を加え、6億円で道路予算を見込んでいる。

**問** 地元要望予算も平成20年度2億4600万円だったものが30年度1億650万円に大幅に減少している。

**答** 平成7年度に比較して1/3になっている。要因として災害が多くその対策に使われている。昨年策定した舗装維持修繕計画も年間2億円の事業を予定しているが、国の予算の減少で半減している。計画も見直していきたい。

### 自治会要望に予算付けを

**問** 自治会から毎年多くの要望が寄せられている。把握しているか。

**答** 本庁建設課に824件、浅羽支所222件、合わせて1,046件の要望をいただいている。このうち、市で管理している道路等への要望が900件。この900件の内訳は、道路や河川の修繕が826件、道路改良が67件、河川の改良が7件となっている。

### 自治会要望に応えるべき

**問** 生活道路整備に対する要望は、近年の実績では年間40件程度あっても、事業化に向け検討に取り組めるものは1件程度と少なく問題ではないか。

**答** 実施率は、単年度実施できている率で見ると27%になっている。

**問** 地元要望に対する予算をもっとつけられないか。

**答** 各自治会要望7路線と迷惑施設対応の道路整備10路線に本年度1億1000万円、維持修繕費に1億4000万円、計2億5000万円つけている。今後この金額を維持していきたい。

### 川井西のまちづくりは

**問** 川井西地区の道路整備についてどのように進めるか。

**答** 年内を目途に、検討委員会の組織再編が予定されているので、2019年度末の都市計画の決定に向けて法定手続を進めていきたい。

### 土橋地区の道路整備は

**問** 企業進出に対応し現在準備が進められているが道路行政はどのように進めるか。

**答** 交通量の相当の増加が予測されるので、新設道路や交通規制対策の必要性なども含めて、総合的な視点から検討を行っていきたい。

## 図書館について

### 図書館老朽化対策は

**問** 施設、設備の老朽化への対応についてどのように取り組むか。

**答** 袋井図書館の空調設備の更新と照明のLED化を、浅羽図書館も空調の部分的な改修を実施、平成29年度には身体障がい者用駐車場を整備するなど、予防保全的改修や利便性向上に努めてきた。

### 袋井図書館の増築を

**問** 磐田が5館、掛川が3館本市が3館、延べ面積で掛川の9382㎡、磐田の8769㎡、袋井は3149㎡で両市の1/3程度の総面積。本館も袋井図書館1814㎡、磐田中央図書館4611㎡、掛川中央図書館3559㎡と1/2程度。蔵書面積は極めて狭い状況だ。増築検討できないか。

**答** 拡張の余地がなく、増築は困難であると認識している。

### クラウド型電子図書サービスを

**問** 磐田市でも導入している、クラウド型電子図書館サービスの導入は出来ないか。

**答** 今後も引き続き、電子書籍数の増加やランニングコストの低下などの状況を勘案しつつ、研究していきたい。

## 行幸啓を記念して

### メモリアルを後世に

**問** 天皇后両陛下が浅羽佐喜太郎公の偉業を視察に袋井市を行幸啓された。このことは2003年国体に次ぐ栄誉なことでありメモリアルとして後世に残してはどうか。

**答** 大変有り難く思う。何らかの形で残していくことが必要であり、様々な皆さんと検討をしたい。

### 大庭議員が監査委員に就任

大場正昭市議の辞職に伴い大庭通嘉議員が監査委員に11月議会に就任しました。

